

看護科の目標

基本目標	具体目標	実践方法
I. 生命の尊厳について深く認識させ、 真摯な態度を確立する。	1. 生命の尊厳・人間尊重の精神を養う。 2. 看護師を目指すものとしての自覚と誇りを持たせ自らの学習意欲を高める。 3. 看護師に必要な基本的な知識、技術、態度を身につける。	a. 看護とは何かについて考えさせ、看護に魅力を覚える教育の推進をはかる。 b. 臨床、臨地実習の活動を通し、生命の尊さについて学習を深めさせる。 c. 臨床・臨地実習を通して看護師としての自覚と適性を養う。 d. 系統的な学習を図るとともに、校内実習、臨地実習を通して看護に必要な知識、技術を習得し基本的な態度を養う。 e. 看護の資格取得のための学力を身につけられるように取り組む。
II. 地域医療の発展や人々の健康生活の向上に寄与し、社会に貢献できる看護を担う人材を育成する。	1. 社会の中で看護を担う一員としての自覚を養う。 2. 医療及び看護の知識と技術を高める。 3. 社会奉仕活動を推進する。 4. 健康教育・医療安全教育を推進する。	a. 社会や医療・福祉の変化を捉えるとともに看護が担う役割を知る。 b. 臨床・臨地実習や実習等の機会を通して、対象のニーズに応じた看護の実践ができる能力を養う。 c. ボランティア活動等を通して、社会における医療・看護の問題を認識させるとともに実践する能力を育成する。 d. 臨地実習を通して対象に応じた健康教育の必要性を知り、その実践ができるよう働きかける。 e. 医療における安全について考えさせ、安全対策の行動が取れるよう取り組む。